



# 大規模火災、爆発事故につながる“危険物”は、絶対に混入しないで下さい!!



近年、廃棄物処理工場において大規模な火災、爆発事故が発生しております。原因の多くは、廃棄物に混入した「電池パック、ガスボンベ、スプレー缶、ライター、発煙筒、花火、マッチ、ベンジン、シンナー、インクトナー等」に含まれる可燃物質が、破砕機の衝撃や火花によって発火することによると考えられております。（空気が乾燥している11～2月には特に注意が必要）

これらの可燃性危険物を廃棄物ヤードにうっかり入れてしまうと、中間処理施設の大事故にもつながりかねません。

現場様に於かれましては、これらの危険物が混入されないよう、徹底した分別の呼びかけをお願い致します。

## 《破砕実験》

ニッカド電池(電圧7Vあり)



破砕前



破砕後

煙多量に発煙。ショートし発火(190℃)

リチウムイオン電池



破砕前



破砕後

煙少量。発熱あり(75℃)


## 《事事故事例》

- 2008年神奈川県産業廃棄物処理工場にて従業員3人が負傷した爆発火災が発生。県警は工場が扱っていたトナーによる粉塵爆発が原因と断定。トナーカートリッジ粉砕作業中に粉塵が工場内に浮遊し破砕機の火花が引火したのが原因。危険性を認識していながら、大型の集塵機などを設置せず安全への配慮怠った疑いがあるとして、工場長らを書類送検。
- 2011年東京都産業廃棄物処理施設で出火。火災現場では何度も爆発が発生し、爆風で割れたガラスで従業員が負傷。ゴミの選別作業中に爆発があり火が広がったという。



# 混入受入不可一覧




<b>ライター類</b>	危険性と処理業者及び 問い合わせ先
	工場内で爆発・火災の危険のあるもの。
	組合員にお尋ねください。


<b>マッチ</b>	危険性と処理業者及び 問い合わせ先
	工場内で爆発・火災の危険のあるもの。
	組合員にお尋ねください。

<b>空容器</b>	危険性と処理業者及び 問い合わせ先
	中身が入っているものまたは中身のないことの確認が出来ないもの。廃棄物ではない。
	(株)日本エルピーガス連合会 03-3593-3500 関東高圧ガス容器管理委員会 03-5296-0860

<b>スプレー缶他</b>	危険性と処理業者及び 問い合わせ先
	そのままだと、工場内で爆発・火災の危険のあるもの。穴を開ければ缶はスクラップとして出せる。
	組合員にお尋ねください。

<b>特管廃油</b>	危険性と処理業者及び 問い合わせ先
	ガソリン、ガソリン、シンナー、ベンジン、軽油・灯油、その他溶剤など引火点が70℃未満で、非常に燃えやすい性質を有する。
	全国オイルリサイクル協同組合 03-5250-5086

<b>電池</b>	危険性と処理業者及び 問い合わせ先
	1次電池＝乾電池（マンガンアルカリ等）、リチウム電池、ボタン電池 2次電池＝ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池、小型シール鉛電池、鉛蓄電池、アルカリ蓄電池
	JFE環境(株) 045-502-1470 東邦亜鉛(株) 03-3272-5657

<b>花火</b>	危険性と処理業者及び 問い合わせ先
	工場内で爆発・火災の危険のあるもの。
	組合員にお尋ねください。

<b>廃トナー</b>	危険性と処理業者及び 問い合わせ先
	カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発によりやけどおそれがある。掃除機を用いると微粒子のトナーが掃除機内部に充満し、電気接点の火花により、粉じん発火となる可能性がある。
	組合員にお尋ねください。